

●9月1日

# 花ある人を育てた135日間

彩りとやま緑化祭'96 閉幕

メイン会場の一つ、高岡おとぎの森公園で行われた閉会式では、実行委員長の中沖知事が「このフェアを契機として都市緑化の機運が高まり、さらに豊かな暮らしが実感できる地域づくりが推進されることを願う」とあいさつ。来賓による祝辞、各種花飾りコンテストの表彰に続いて、中沖知事、佐藤高岡市長、岡部砺波市長から、次期の全国都市緑化フェア開催地である広島市の平岡市長にフェア旗を引き継がれました。平岡市長は、「広島にとって花と緑は復興のシンボル。富山県に続いて開く緑化祭で、緑と命を育んでいきたい」とあいさつ。閉会式終了後は、中沖知事をはじめ実行委員関係者が、出口ゲートで来場者を見送りました。

会期中は、県下六会場あわせて約百九十一万人（うち高岡市の二つのメイン会場には、五十二日間で約百九万人）が訪れ、花と緑を大切にすることを全国に向けて発信しました。



四月十三日から百三十五日間にわたり「まち・ひと・くらし—花ある人を育てる緑—」をテーマに開催された第十三回全国都市緑化とやまフェア「彩りとやま緑化祭'96」が九月一日、閉幕しました。



▲来場者を見送る中沖知事ら



▲広島市の平岡市長に引き継がれるフェア旗